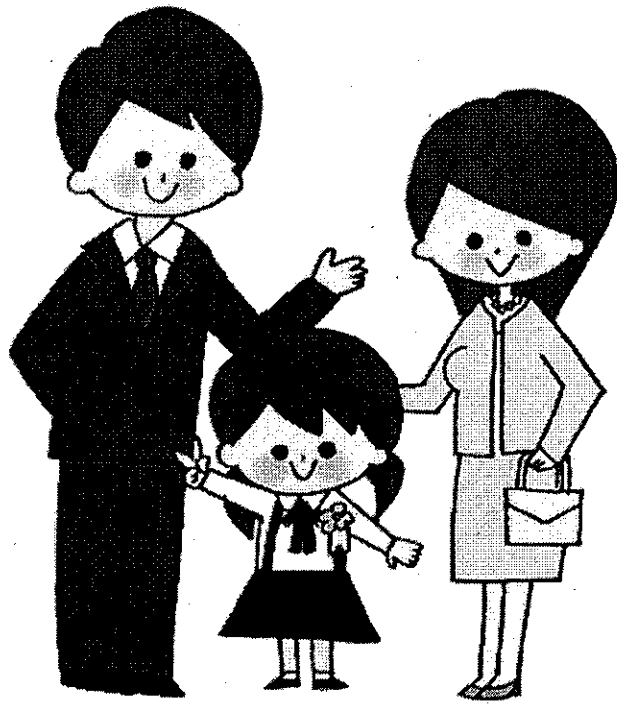
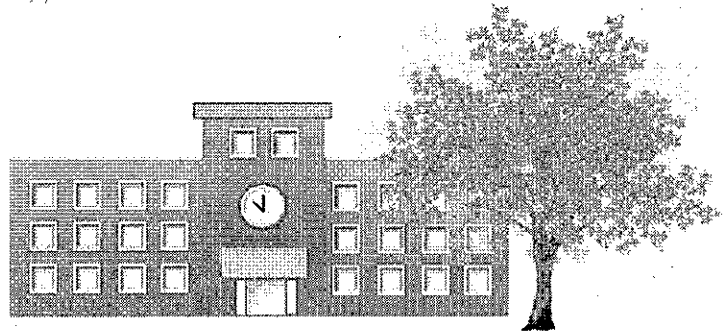


しゅうがく
就学ガイドブック



山 梨 県
<国 際 課>

ちゅうい にほん がっこう ぎょうせい きかん つうじょう つうやく
注意：日本の学校や行政機関には、通常、通訳がないので、
これらの機関に問い合わせや相談をする際は、日本語ので
きる方を通してお尋ね下さい。



I	きょういくせいど 教育制度	7
1	にほん きょういくせいど 日本の教育制度	7
	(1) 6. 3. 3. 4 制	
	(2) きむきょういく 義務教育	
	(3) その他	
2	にほん がっこう 日本の学校	8
	(1) こくりつ・こうりつ がっこう と しりつ がっこう 国立・公立の学校と私立の学校	
	(2) ねんど・がっき きゅうぎょうび 年度・学期・休業日	
II	しゅうがくてつづき 就学手続	8
1	にゅうえん 入園	8
2	しょうがっこう・ちゅうがっこう への にゅうがく 小学校・中学校への入学	9
	(1) しょうがっこう・ちゅうがっこう への にゅうがく 小学校・中学校への入学	
	(2) がっこう での てつづき に ひつよう な しよるい 学校での手続きに必要な書類	
3	へんにゅうがく 編入学	11
III	しょうがっこう・ちゅうがっこう 小学校・中学校	11
1	しゅうがくねんれい 就学年齢	11
2	ひよう 費用	12
3	しょうがっこう 小学校	12
	(1) がっき 1学期	

- ①始業式 ②入学式 ③健康診断 ④身体測定 ⑤校外学習(遠足)
- ⑥授業参観 ⑦保護者と担任の懇談 ⑧家庭訪問 ⑨修学旅行
- ⑩終業式 ⑪夏休み(7月末～8月末)

(2) 2学期

- ①運動会・体育大会 ②文化祭・学習発表会・学芸会
- ③冬休み(12月末～1月初め)

(3) 3学期

- ①卒業式 ②春休み(3月末～4月初め)

4 小学校の学校生活 15

(1) 登校

- ①通学路 ②通学の仕方

(2) 始業時間

(3) 学校にいる時間

- (4) 給食(学校で用意する昼食) 弁当(家から持ってくる昼食)

(5) 清掃時間

(6) 下校

(7) 服装

5 小学校の様子 18

(1) 学級について

(2) 学習内容

(3) 学習道具

(4) 健康診断

(5) 通知表

6 中学校 21

(1) 1学期

- ①始業式 ②入学式 ③健康診断 ④身体測定 ⑤校外学習
- ⑥授業参観 ⑦懇談会 ⑧学級(クラス)懇談会 ⑨三者懇談
- ⑩家庭訪問 ⑪修学旅行 ⑫終業式 ⑬夏休み(7月末～8月末)

(2) 2学期

- ①体育大会 ②文化祭・学習発表会・学芸会 ③冬休み(12月末～1月初め)

(3) 3学期

- ①卒業式 ②春休み(3月末～4月初め)

7 中学校の学校生活 23

(1) 登校

(2) 始業時間

(3) 学校にいる時間

(4) 給食(学校で用意する昼食) 弁当(家から持ってくる昼食)

(5) 清掃時間

(6) 部活動

(7) 下校

(8) 服装

8 中学校の様子 26

(1) 学級について

(2) 学習内容

(3) 学習道具

	(4) 健康診断	
	(5) 定期テスト	
	(6) 通知表	
9	中学校卒業後	28
IV	高等学校	29
1	学期	29
	(1) 1学期	
	①始業式 ②入学式 ③健康診断 ④身体測定 ⑤校外学習	
	⑥三者懇談 ⑦終業式	
	(2) 2学期	
	①夏休み (7月末～8月末) ②体育大会 ③文化祭・学習発表会	
	④冬休み (12月末～1月初め)	
	(3) 3学期	
	①修学旅行 ②卒業式 ③春休み (3月末～4月初め)	
2	入学・資格	31
3	編入学	31
4	高校の種類	31
	(1) 学科	
	(2) 全日制・定時制・通信制	
5	高校の学校生活	32
	(1) 学年	

- (2) 単位
- (3) 始業時間
- (4) 遅刻
- (5) 学校にいる時間
- (6) 弁当 (家から持ってくる昼食)
- (7) 清掃時間
- (8) 部活動
- (9) 服装

6 高等学校の様子 35

- (1) 学級について
- (2) 学習内容
- (3) 学習道具
- (4) 健康診断
- (5) 定期テスト
- (6) 通知表

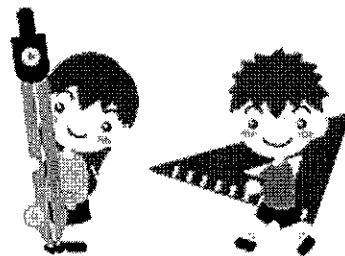
V その他の学校 37

VI 大学・短期大学 38

1 大学・短期大学 38

- (1) 大学・短期大学とは
- (2) 入学するためには
- (3) 入学試験

2	私費外国人留學生の受験	39
	(1) 私費外国人留學生の場合	
	(2) 日本語能力試験	
	(3) 日本留学試験	
VII	外国人学校	39
VIII	支援	39
1	就学援助	39
2	奨学金	40
	(1) 高校生に対する奨学金	
	(2) 短期大学、専修学校、大学等の学生に対する奨学金	
	(3) 留學生に対する奨学金	



I 教育制度

1989年国連総会で採択された「児童の権利条約」を日本は、1994年に批准しています。

この条約の中で、子どもの教育を受ける権利を守ることを定めています。日本では外国籍児童生徒の保護者に普通教育を受けさせる義務を課してはませんが、国際人権規約「A規約」第13条により、市町村教育委員会・学校は外国籍児童生徒を受け入れています。

1 日本の教育制度

(1) 6. 3. 3. 4制

日本の教育制度は基本的に、小学校6年、中学校3年、高等学校（高校）3年、大学4年（短期大学は2or3年）となっています。

(2) 義務教育

このうち、小学校と中学校は義務教育として、すべての子どもたちが入学して卒業しなければなりません。義務教育は日本の国民に対しての義務ですが、日本に住んでいる満6歳～15歳の外国籍児童生徒は、国籍を問わず、本人が望めば日本人と同じように地域の小学校や中学校へ入学や編入ができます。子どもの将来のことを考え、入学や編入を行うことが望まれます。お住まいの市町村（教育委員会）へご相談ください。

(3) その他

日本のほとんどの子どもたちは、中学校を卒業した後、高校や大学に進学します。高校と大学は希望者が選抜（入学）試験を受けて入学します。

また、小学校に入学する前の子どもたちのために幼稚園があります。さらに、中学校や高校の卒業生をおもな対象として、職業に必要な技術や知識を教える専修学校や各種学校があります。障害者のために特別支援学校もあります。

2 日本にほんの学校がっこう

(1) 国立こくりつ・公立こうりつの学校がっこうと私立しりつの学校がっこう

学校がっこうには、国くにが運営うんえいする国立こくりつ、都道府県市区町村とどうふけんしきうちょうそんが運営うんえいする公立こうりつ、そして学校法人がっこうほうじんが運営うんえいする私立しりつの学校がっこうの3種類しゅるいがあります。

公立小・中学校こうりつしょう・ちゅうがっこうの場合ばあい、原則げんそく的に住すんでいる場所ばしょによって入学にゅうがくする学校がっこうが決ままっているので、入学試験にゅうがくしけんはありませんが、私立しりつの学校がっこうは選抜試験せんぱつしけんを受けなければなりません。

(2) 年度ねんど・学期がっき・休業日きゅうぎょうび

学校がっこうの年度ねんどは、4月1日がついついちから次の年つぎとしの3月31日がつにちまでで、ほとんどの学校がっこうが3学期がっきに分かれています。1学期がっきは4月がつから7月がつ、2学期がっきは8月がつから12月がつ、3学期がっきが1月がつから3月がつまでです。ただし、学校がっこうによっては2学期がっき（前期ぜんき：4月がつから9月がつ、後期こうき：10月がつから3月がつ）のところもあります。そして、それぞれの学期がっきの間あいだに約40日やくにちの夏休みなつやすみと2週間しゅうかん程度の冬休みふゆやすみ、春休みはるやすみがあり、2学期制がっきせいの場合ばあいはそのほかに前期ぜんきと後期こうきの間あいだに休みやすみ（3日みっか程度）があります。

II 就学しゅうがく手続てつづき

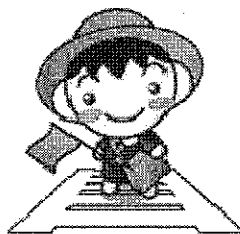
1 入園にゅうえん

◆幼稚園ようちえんの場合ばあい

(1) 外国人登録がいこくじんとうろくがまだの人ひとは、市役所しやくしょ・町ちやう村そん役場やくばの市民課しみんか（または住民課じゅうみんか／市町村しちやうそんによって呼び方よびかたが違います）で外国人登録がいこくじんとうろくをします。

(2) 子どもこどもを通かよわせたいと思おもう幼稚園ようちえんで「入園願書にゅうえんがんしょ」をもらい、必要事項ひつようじこうを記入きじゅうして、幼稚園ようちえんに提出ていしゅつします。

(3) 指定された日に、申し込みをした幼稚園に行きます。



2 小学校・中学校への入学

(1) 小学校・中学校への入学

公立の小学校や中学校に子どもを入学させたいときは、住んでいる市役所・町村役場または教育委員会で外国人就学申請（届）をしてください。申請には子どもと保護者それぞれの外国人登録証明書が必要です。手続きはいつでも受け付けています。数日後、市町村教育委員会から、入学許可書が送付されてきたら、保護者は、入学許可書を持って、子どもと一緒に学校へ行きます。外国籍児童生徒が日本の学校教育を受ける場合、その取り扱いは基本的には、日本の児童生徒と同じです。

日本の学校では、年齢により学年が決められます。外国人の場合も子どもの年齢相当の学年に編入されます。

インターナショナルスクールや国立・私立の小学校や中学校に入学させたいときは、その学校に直接申し込んで下さい。

*外国人登録をして、翌年に小学校へ入学する年齢の子どもがいる保護者には、入学通知書が送られてきます。通知書には入学する学校や就学のための健康診断（就学前健康診断）の日にちが書かれています。

*入学通知書がこない場合は、子どもが入学する年齢に近づいたら、早めに市役所・町村役場（教育委員会）に問い合わせましょう。

市町村一覧 → <http://www.pref.yamanashi.jp/link/ctv/ctv.html>

* 入学の手続き

① 住所を決める。



② 外国人登録をする。



③ 外国人登録証を受ける。



④ 市町村教育委員会から就学通知書（入学許可書）をもらう。



⑤ 就学通知書をもって学校へ行く。



(2) 学校での手続きに必要な書類

指定された学校に出向くとき、母国で受領した学校関係の書類（在籍証明書や成績証明書など）があれば、それらを持って行ってください。

学校では、次のようなことについて話し合います。

- ・ 本人と家族の氏名
- ・ 生年月日

- ・ 現住所
- ・ 家族構成
- ・ 編入前に受けた教育
- ・ 在留予定期間
- ・ 母国での学年（就学年数）
- ・ 本人及び家族の日本語使用の様子
- ・ 連絡方法（緊急時・勤務先・通訳等）
- ・ 登下校の方法
- ・ 健康の状況（既往歴、視力、聴力、持病、食習慣）

3 編入学

小学校・中学校への編入学

- ① 外国人登録がまだの人は、市役所・町・村役場の市民課（住民課）で、外国人登録をします。
- ② 各市町村の教育委員会に、編入学希望を伝え、「転入通知書」をもらいます。
- ③ 教育委員会でもらった「転入通知書」を持って指定された学校に行きます。

Ⅲ 小学校・中学校

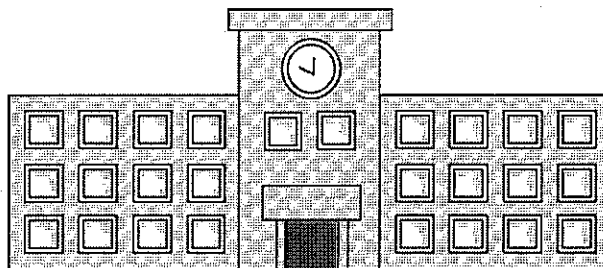
日本の小学校と中学校は義務教育です。学校生活には日本ならではの習慣や行事、規則などがあります。それらをよく理解して、子どもたちが安心して楽しい学校生活を送れるようにしましょう。

1 就学年齢

就学年齢とは学校に入学するときに、適した年齢のことです。小学校は満6歳、中学校

は満12歳に達した子どもたちです。

日本の学校では年齢によって学年が決められます。外国人の子どもの場合も年齢相当の学年に編入されます。



2 費用

国立・公立の場合	小学校、中学校の入学金、授業料、教科書代は無料ですが、教科書以外の教材費、学用品、給食費、遠足代、制服代などは自己負担となります。
私立の場合	入学金、授業料なども自己負担となります。

3 小学校

学校は毎年4月に始まり、3月に終わります。多くの学校の1年は3つの学期に分かれています。

2つの学期に分かれている学校もあります。学校ではいろいろな行事を行います。その中には、保護者にも学校に来てもらうものや、特別にお金がかかるものもあります。

くわしいことは学校からお知らせがあります。学校行事の名前や、内容などはあなたの住んでい

る地域や学校、学年によっても違いますが、よくある行事を紹介します。

(1) 1学期

① 始業式

学期の始まりの日にある行事です。全学年が集まります。

②入学式

1年生に入学する子どもたちをお祝いする行事です。1年生の保護者も出席します。

③健康診断

体の健康状態をお医者さんが診ます。

④身体測定

背の高さやからだの重さなどを測ります。

⑤校外学習（遠足）

教室では勉強できないことを学校の外に出て、自然や歴史・文化に触れながら勉強します。

⑥授業参観

子どもたちが学校で毎日どのように生活をしているかを知るために、保護者が授業を観ます。

⑦保護者と担任の懇談

担任、保護者、子どもがいっしょに、学校や家庭での生活について話し合います。

各学期の終わりにあります。

⑧家庭訪問

担任が子どもの家に行き、子どもの家庭での生活について保護者と話し合います。

⑨修学旅行

6年生になると、学年全員で宿泊での旅行をします。1学期に行くことが多いです。

⑩卒業式

学期の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

⑪夏休み（7月末～8月末）

約30日間の休みです。休みの間に水泳や部活動（クラブ）のために学校に行く日もあります。

(2) 2学期

①運動会・体育大会

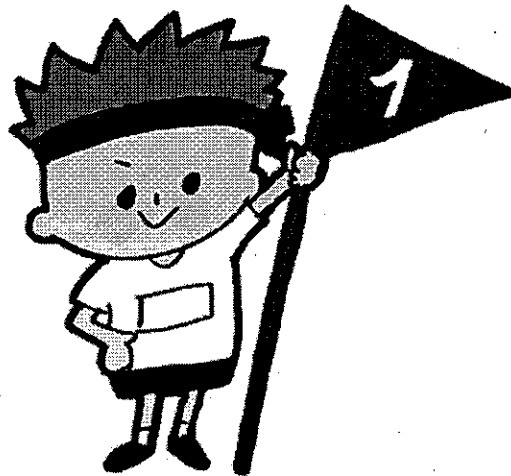
かけっこ（徒競走）やリレー、ダンスなどをしたり、学級（クラス）の友だちの応援をしたりしながら、運動を楽しむ行事です。学校によっては保護者や家族も参加できるものもあります。たいていの小学校では運動会、中学校では体育大会と呼びます。

②文化祭・学習発表会・学芸会

図画・工作、家庭科などで作ったものや、社会科、理科など勉強したレポートなどを展示したり、楽器の演奏や合唱、演劇等の発表をしたり、それらを観たり聞いたりして楽しむ会です。たいてい保護者も見学できます。

③冬休み（12月末～1月初め）

約2週間の休みです。



(3) 3学期

①卒業式

6年生に卒業証書を渡し、卒業を祝う行事です。

②春休み（3月末～4月初め）

約2週間の休みです。3学期の終業式が終わると、春休みになります。この休みが終わるとひとつ上の学年に進み、4月から新しい学年が始まります。

4 小学校の学校生活

公立小学校では、次のような決まりがあります。学校ごとで違うので、学校の先生に聞いてください。

(1) 登校

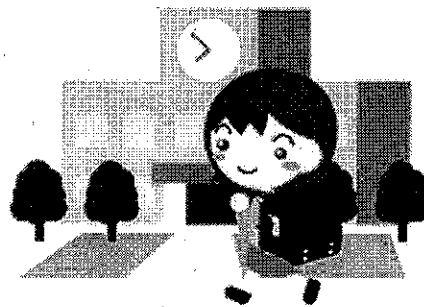
① 通学路

安全に学校に行ったり帰ったりできるように、学校に行くときや帰るときに通る道が決められています。これを「通学路」と呼んでいますが、なるべく危なくない道を学校が決めていますので、その道を通るようにしましょう。

② 通学の仕方

集団登校

近くに住む子どもたちが1つのグループとなって一緒に学校へ行く方法です。多くの小学校で行っています。遅れないように集まる場所へ行くようにしましょう。



(2) 始業時間 (学校が始まる時間)

学校は午前8時30分ぐらいに始まります。10分ぐらい前に着くように学校に行きましょう。始業時刻までに学校に来ない場合は「遅刻」になります。遅刻するときや、病気など

で休むときには、必ず学校に連絡をしてください。

(3) 学校にいる時間

授業の数や帰る時間は曜日や学年によって変わります。小学校6年生では午前8時30分頃に始まり、午前中4時限（1時限は45分）の授業があります。昼ご飯（給食やお弁当）の後2時限の授業があり、1日だいたい5～6時限です。授業は担任の先生が中心になって教えます。

(4) 給食（学校で用意する昼食） 弁当（家から持ってくる昼食）

ほとんどの小学校では、学校給食（学校で用意する昼食）があります。学校給食では子どもたちが交代で順番に、自分たちでご飯を配ったり、後かたづけをしたりします。これは給食当番（給食係）といいます。

学期のはじめや特別な行事があるときは、給食のない場合もあります。また、弁当（家から持ってくる昼食）が必要な場合もあります。その時には学校からお知らせがあります。

宗教上の理由や、アレルギーなどで食べられないものがあるときは、担任の先生に相談してください。

学校給食の材料費は、保護者が払います。1ヶ月にだいたい3,500円から4,500円ぐらいです。



(5) 清掃時間

小学校ではお昼ご飯の後、中学校では学校から帰る前に掃除をするための時間があります。

子どもたちは先生と一緒に、学校の教室、階段、廊下、トイレなどを清掃します。自分たちが勉強する場所を、自分たちできれいにしましょう。



(6) 下校

学校に来るときと同じように、通学路を遡って家に帰ります。学校から帰る時間は学年や日によって違います。行事があるときなどは、また時間が変わります。時間が変わるときは学校から連絡があります。

(7) 服装

小学校の多くは自分の好きな服を着て行くことができますが、「制服」「標準服」という決められた服がある学校もあります。

「体育」の時間は、運動しやすい「体操服」に着替えます。体育館では、上履とは別に体育館だけで使う靴が必要な学校があります。

「給食当番」になって、給食を配るときは、エプロン・マスク・帽子を着ます。マスクは自分のものを使います。

夏の水泳の授業（プール）の時には、水着と水泳帽子を自分で用意します。自分のものに

は、自分の名前を書いておきます。

くわしくは学校で聞いてください。

5 小学校の様子

(1) 学級について

学級（クラス）には40人以内の子どもたちと担任の先生がいます。授業は担任の先生が中心になって教えますが、学年や学校によっては、図工・音楽・家庭などを別の先生が教えることもあります。他に何人かの先生で教える場合もあります。

※各教科の学習や朝と帰りの学級（クラス）活動、色々な学校の行事は、学級ごとに行うことが多いので、わからないことや困ったことがあれば、すぐに担任の先生に相談してください。

(2) 学習内容

学校ではこんな勉強をします。

小学校1・2年生

国語、算数、生活、音楽、図画・工作、体育

小学校3・4年生

国語、算数、社会、理科、音楽、図画・工作、体育

小学校5・6年生

国語、算数、社会、理科、音楽、図画・工作、体育、家庭

※他に道徳、特別活動（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）総合的な学習の時間があります。

・特別活動とは、児童会活動や学校の生活をより良くするために子どもたちが自主的な活動を行います。

(3) 学習道具

学習に使う教科書は無料です。教科書以外に必要なものは家庭で用意してもらいます。

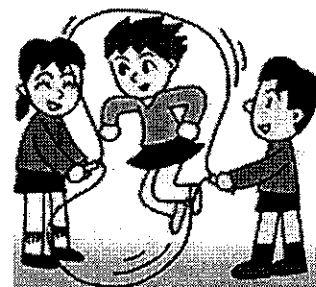
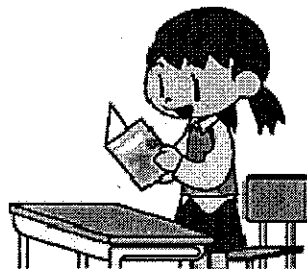
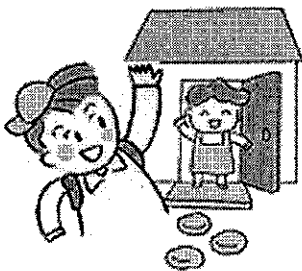
いくつかの教科では、自分だけが使う道具が必要です。

国語 → 毛筆、墨など

音楽 → 鍵盤ハーモニカ（ピアノ）、リコーダーなど

図画工作 → 水彩絵の具、クレヨン、クレパスなど

家庭 → 裁縫道具など



(4) 健康診断

日本の学校では、必要に応じて健康診断を行っています。健康診断はいろいろな種類があります。

・保健調査（いままでにかかった病気や、今健康かどうかを調べます）

・身長（背の高さ）・体重（からだの重さ）・座高（座ったときの背の高さ）、内科（お腹の中の様子）、眼科（目が健康かどうか）、耳鼻科（耳と鼻が健康かどうか）、歯科（歯が健康かどうか）、視力（どれくらい見えるか）、色覚（色のちがいがわかるかどうか・小学校4年生のみ）、聴力（音が聞こえるか）

・結核検診（ツベルクリン反応検査）

小学校1年生全員が検査を受けます

・心臓検診（心電図検査）

小学校1年生全員が検査を受けます

・尿検査（おしっこの検査）

・寄生虫検査（お腹に虫がいないか）

小学校1・2・3年生全員が検査を受けます

他にも、水泳の授業の前、マラソンや登山などをする前、修学旅行などに行く前に検査を受けることがあります。



(5) 通知表

子どもの学校での学習の成果（成績）や学校生活の様々な活動の様子が書いてあります。卒業式の日にもらい、保護者に見せてから、次の学期始め（始業式の日）に担任に渡します。

6 中学校

学校は毎年4月に始まり、3月に終わります。多くの学校の1年は3つの学期に分かれています。2つの学期に分かれている学校もあります。学校ではいろいろな行事を行ないます。その中には、保護者にも学校に来てもらうものや、特別にお金がかかるものもあります。くわしいことは学校からお知らせがあります。学校行事の名前や、内容などはあなたの住んでいる地域や学校、学年によっても違いますが、よく行なうものを紹介します。

(1) 1学期

① 始業式

学期の始まりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

② 入学式

1年生に入学する子どもたちをお祝いする行事です。保護者も出席します。

③ 健康診断

身体が健康かどうかをお医者さんが診ます。

④ 身体測定

背の高さやからだの重さなどを測ります。

⑤ 校外学習

教室では勉強できないことを学校の外に出て、自然や歴史・文化に触れながら勉強します。

⑥授業参観

子どもたちが学校で毎日どのように生活をしているかを知るために、保護者が授業を観ます。

⑦懇談会

担任と保護者が、学期ごとに勉強や学校、家庭での生活の様子について話をします。

⑧学級（クラス）懇談会

学級（クラス）で担任と保護者が子どもたちのことについて話し合います。

⑨三者懇談

担任、保護者、子どもがいっしょに学校や家庭での生活について話し合います。だいたい各学期の終わりにあります。

⑩家庭訪問

担任が子どもの家に行き、子どもの家庭での生活について保護者と話し合います。

⑪修学旅行

中学校は3年生になると、学年全員で泊まりの旅行をします。1学期に行くことが多いです。

⑫終業式

学期の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

⑬夏休み（7月末～8月末）

約30日～40日間の長い休みです。休みの間に水泳や部活動（クラブ）のために学校に行く日もあります。

(2) 2学期

①体育大会

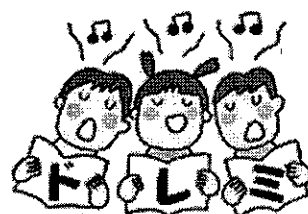
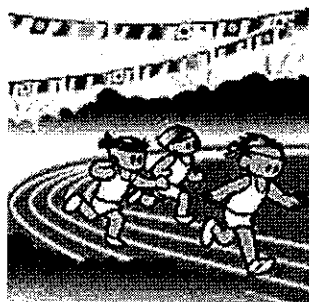
短距離走やリレー、ダンスなどをしたり、学級（クラス）の友だちの応援をしたりしながら、運動を楽しむ行事です。学校によっては保護者や家族も参加できるものもあります。

②文化祭・学習発表会・学芸会

美術、技術・家庭科などで作ったものや、社会科、理科など勉強したレポートなどを展示したり、楽器の演奏や合唱、演劇等の発表をしたり、それらを観たり聞いたりして楽しむ会です。たいてい保護者も見学できます。

③冬休み (12月末～1月初め)

約2週間の休みです。



(3) 3学期

①卒業式

卒業を認められた人に卒業証書を渡し、卒業を祝う行事です。

②春休み (3月末～4月初め)

約2週間の休みです。3学期の終業式が終わると、春休みになります。この休みが終わるとひとつ上の学年に進み、4月から新しい学年の1学期が始まります。

7 中学校の学校生活

公立中学校では、次のような決まりがあります。学校ごとで違うので、あなたの通う学校の先生に聞いてください。

(1) 登校

【通学路】

安全に学校に行ったり帰ったりできるように、学校に行くときや帰るときに通る道が決められています。これを「通学路」と呼んでいますが、なるべく危なくない道を学校が決めていきますので、その道を通るようにしましょう。

(2) 始業時間（学校が始まる時間）

学校は午前8時30分ぐらいに始まります。10分ぐらい前に着くように学校に行きましょう。始業時刻までに学校にこない場合は「遅刻」になります。遅刻するときや、病気などで休むときには、必ず学校に連絡をしてください。

(3) 学校にいる時間

授業の数や帰る時間は1年生から3年生までほとんど同じです。午前8時30分頃に始まり、午前中4時限（1時限は50分）の授業があります。昼ご飯（給食かお弁当）の後2時限の授業があり、1日だいたい5～6時限です。授業は教科ごとに先生が替わって教えます。

(4) 給食（学校で用意する昼食）

ほとんどの中学校では、学校給食（学校で用意する昼食）があります。学校給食では生徒が交代で順番に、自分たちでご飯を配ったり、後かたづけをしたりします。これは給食当番（給食係）といいます。

学期のはじめや特別な行事があるときは、給食のない場合もあります。また、弁当（家から持ってくる昼食）が必要な場合もあります。その時には学校からお知らせがあります。

宗教上の理由や、アレルギーなどで食べられないものがあるときは、担任の先生に相談してください。

学校給食の材料費は、保護者が払います。1ヶ月にだいたい3,500円から4,500円ぐらいです。

(5) 清掃時間

中学校では学校から帰る前に掃除をするための時間があります。子どもたちは先生と一緒に、学校の教室、階段、廊下、トイレなどを清掃します。自分たちが勉強する場所を、自分たちできれいにしましょう。

(6) 部活動

放課後は、自分の得意な運動や文化的な活動を行うことができます。活動への参加は自由です。



(7) 下校

学校に来るときと同じように、通学路を遡って家に帰ります。学校から帰る時間は学年や日によって違います。行事があるときなどは、また時間が変わります。時間が変わるときは学校から連絡があります。

(8) 服装

中学校はほとんどの学校が、「制服」という決められた服を着ていきます。学校ごとに決められた制服（夏用・冬用などがあります）を着て登校します。

「体育」の時間は、運動しやすい「ジャージ」に着替えます。体育館では、上履とは別に体育館だけで使う靴が必要な学校があります。

夏の「プール（水泳）」の時には、水着と水泳帽子を自分で用意します。自分のものには自分の名前を書いておきます。くわしくは学校で聞いてください。

8 中学校の様子

(1) 学級について

学級（クラス）は40人以内で、担任の先生がいます。授業は教科ごとに担当する先生が違います。

※各教科の学習や始まりと終わりの学級（クラス）活動、色々な学校の行事は、学級ごとに行うことが多いので、わからないことや困ったことがあればすぐに担任の先生に相談してください。

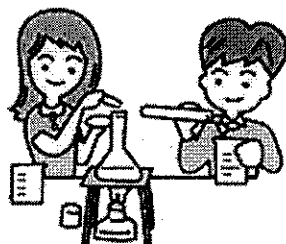
(2) 学習内容

○中学校の教科

中学校では、小学校の基礎学習の上にとって

国語、数学、社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）があります。

※他に道徳、特別活動（学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事）、総合的な学習の時間と選択教科があります。



(3) 学習道具

学習に使う教科書は無料です。教科書以外に必要なものは、家庭で用意してもらいます。いくつかの教科では、自分だけが使う道具が必要なことがあります。

(例)

国語では → 毛筆、墨など

家庭では → 裁縫道具など

(4) 健康診断

日本の学校では、必要に応じて健康診断を行なっています。健康診断はいろいろな種類があります。

- ・ 保健調査 (今までにかかった病気や、今健康かどうかを調べます)
- ・ 身長 (背の高さ) ・ 体重 (からだの重さ) ・ 座高測定 (座ったときの背の高さ)、内科 (お腹の中の様子)、眼科 (目が健康かどうか)、耳鼻科 (耳と鼻が健康かどうか)、歯科検診 (歯が健康かどうか)、視力 (どれくらい見えるか)、色覚 (色のちがいがわかるかどうか)、聴力 (音が聞こえるか)
- ・ 結核検診 (ツベルクリン反応検査)
中学校1年生全員が検査を受けます
- ・ 心臓検診 (心電図検査)
中学校1年生全員が検査を受けます
- ・ 尿検査 (おしっこの検査)
- ・ 寄生虫検査 (お腹に虫がいないか)

※他にも、水泳の授業の前、マラソンや登山などをする前、修学旅行などに行く前に検査を受けることがあります。

(5) 定期テスト

中学校では、年間に4～5回の定期的なテスト(中間テスト・期末テスト)があります。テストはしないで、作品や授業態度などから判断して評価する教科もあります。定期テストの期間は2～3日です。定期テストの他に、宿題もあります。詳しいことは学校の先生に聞いてください。

(6) 通知表

子どもの学校での学習の成果(成績)や学校生活の様々な活動の様子が書いてあります。終業式の日にもらい、保護者に見せてから、次の学期始め(始業式の日)に担任に渡します。



9 中学校卒業後

中学校を卒業してからも勉強を続けるには、いろいろな方法がありますが、高等学校、高等専門学校で勉強を続ける、専修学校、各種学校へ進む、または働きながら定時制や通信制の高等学校で学ぶ方法などがあります。

IV 高等学校

高等学校は一般的に高校と呼ばれます(以下高校)。中学生の約90%以上の人が高校へ進学します。小・中学校と同じように、国が運営する国立、都道府県市町村が運営する公立、そして学校法人が運営する私立の学校の3種類があります。

学校は毎年4月に始まり、3月に終わります。学年制(各学年に決められた出席日数と成績をあげないと留年する)と単位制(3年以上の間に決められた出席日数と成績をあげると卒業できる)の2種類があります。1年間が3つの学期に分かれたり、前期、後期の2つに分かれている学校もあります。その中には、保護者にも学校に来てもらって担任の先生と話す機会や、授業料の他に、特別にお金がかかる行事(修学旅行)もあります。高校は生徒が中心になって、いろいろな行事を行います。行事の名前や、内容などは学校によっても違いますが、よく行うものを紹介します。

1 学期

(1) 1学期

①始業式

学期の始まりの日にある行事です。全学年が集まります。

②入学式

1年生に入学する生徒たちをお祝いする行事です。保護者も出席できます。

③健康診断

身体が健康かどうかを、お医者さんが診ます。

④身体測定

背の高さやからだの重さなどを測ります。

⑤校外学習

教室では勉強できないことを学校の外に出て、自然や歴史・文化に触れながら勉強し

ます。

⑥ 三者懇談

担任と保護者、生徒で学校や家庭での生活について話し合います。

⑦ 終業式

学期の終わりの日にある行事です。学年が集まります。

(2) 2学期

① 夏休み (7月末～8月末)

約30日間の長い休みです。

休みの間に部活動(クラブ)のために学校に行く日もあります。

② 体育大会

短距離走や長距離走、リレー、ダンスなどをしたり、学級(クラス)の友だちの応援をしながら、運動を楽しむ行事です。

③ 文化祭・学習発表会

クラス単位で楽器の演奏や合唱、演劇等の発表をしたり、それらを観たり聞いたりして楽しむ会です。たいてい保護者も見学できます。

④ 冬休み (12月末～1月初め)

約2週間の休みです。

(3) 3学期

① 修学旅行

公立高校では2年生になると、学年全員で泊まりの旅行をします。

2学期か3学期に行くことが多いです。

② 卒業式

卒業を認められた生徒に卒業証書を渡し、祝う行事です。

*卒業するためには、きめられた単位を修得しなければなりません。

③春休み (3月末～4月初め)

3学期の終業式が終わると、春休みになります。

2 入学・資格

高校へ入学するためには各学校の入学試験に合格しなければなりません。入学試験の方法や条件が学校によってちがいます。また、外国人のための特別枠を設けてある高校もあるので、入学を希望する高校に問い合わせてみましょう。高校入学には、入学金や授業料も必要です。

3 編入学

山梨県立高校の全日制は、保護者と本人が山梨県内に住んでいること、定時制では、本人が山梨県内に住んでいるか、働いていることという条件があります。また、外国で通っていた学校の成績証明書が必要です。

- ① 山梨県教育委員会に高校に編入したいということを伝えます。
- ② 教育委員会では、編入学の資格があるかどうかを確認し、日本語の能力等を把握した上で編入学先の相談を進めていきます。
- ③ 各学期の始まる直前に編入学試験を実施します。編入学試験の内容については、学校によって多少違いますが、通常学力試験を行います。
- ④ 編入学試験に合格すると、その高校に編入学できます。

4 高校の種類

どの高校に行くか、どの学科に行くかは本人の希望を含めて、中学校の先生と進路を相談して決めましょう。

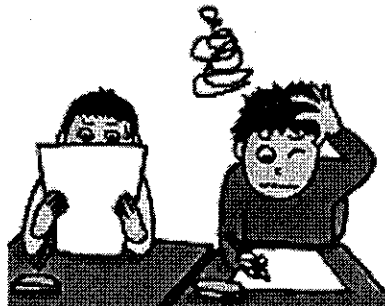
(1) 学科

普通科と専門学科（工業科、商業科、理数科など）と、総合学科に分かれます。

(2) 全日制・定時制・通信制

授業時間の形態によっても分かれます。

全日制	昼間通学します。就学年数は3年です。
定時制	働きながら、夜間（または昼間）に通学します。就学年数は3年以上です。
通信制	自宅で学習します。（月2回程度のスクーリングがあります）



5 高校の学校生活

公立高校では、次のような決まりがあります。学校ごとに違うので、あなたの通う学校の先生に聞いてください。

(1) 学年

高校は学年制と単位制の2種類があります。学年制の高校では、学年ごとに勉強する科目が決められています。（一部自分で選べる科目もあります）欠席（欠課：その授業を休むこ

と)が多かったり、課題を提出しなかったり、試験の成績が悪いと次の学年へ進級することができません(「原級留置」、留年ともいいます)。原級留置になると、もう一度その学年の勉強をやりなおさなければなりません。

単位制の学校には、学年はありません。原級留置の制度もありません。卒業するのに必要な科目数が決められていて、その科目に合格して、決められた単位(下の項目参照)数を取れば卒業できます。

(2) 単位

正式には50分授業を35週(35回)行った学習量を1単位と言います。例えば、数学を1週間に4時間勉強すると、「4単位」あるといえます。高校は、卒業までに取らなくてはならない単位数が決められています。学校によって異なりますが、多くの学校では74単位以上が必要です。

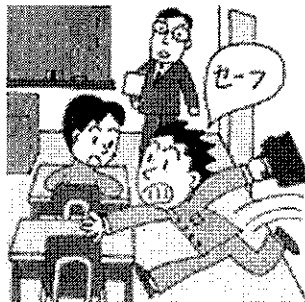
(3) 始業時間 (学校が始まる時間)

全日制の高校では午前8時30分ぐらいに始まります。定時制の課程では、概ね午後6時から始まります。

(4) 遅刻

始業時刻や各授業が始まるまでに、学校に来ない場合や教室に入らない場合は「遅刻」になります。

遅刻が多いと欠席となることもあり、単位が取れなくなることもあります。遅刻するときや、病気などで休むときには、必ず学校に連絡してください。



(5) 学校にいる時間

高校は午前8時30分頃に始まり、たいていは午前中4時限(1時限は50分)の授業があります。お昼ご飯の後、午後に2時限の授業があります。授業は教科ごとに各担当の先生が替わって教えます。

(6) 弁当(家から持ってくる昼食)

山梨県内の高校では、学校給食(学校で用意する昼食)がありません。学校へ自分でお弁当を持って行くか、食堂で各自がお金を払って食べます。(たいていの高校では食堂があります。)

(7) 清掃時間

高校では授業が終わると掃除をするための時間があります。生徒は、学校の教室、階段、廊下、トイレなどを清掃します。自分たちが勉強する場所、使った場所を、自分たちできれいにしましょう。

(8) 部活動

授業が終わった後の時間を放課後といいます。放課後は、自分の得意な運動や文化的な活動をおこなうことができます。このような運動部や文化部での活動を部活動といい、参加は自由です。



(9) 服装

高校はほとんどの学校が、「制服」という決められた服があります。学校ごとに決められた制服（夏用・冬用などがあります）を着て登校します。

「体育」の時間は、運動しやすい「体操服」に着替えます。体育館では、上靴とは別に体育館だけで使う靴が必要な学校があります。

夏の「プール（水泳）」の時には、水着と水泳帽子を自分で用意します。くわしくは学校で聞いてください。

6 高等学校の様子

(1) 学級について

学級（クラス）は一クラスは40人以内で、担任の先生の他に副担任の先生が決められています。授業では、教科ごとに担当する先生が替わります。

※各教科の学習や、一日の始まりと終わりに行なう学級活動（ホームルーム活動）、色々な学校の行事は、学級ごとに行なうことが多いので、わからないことや困ったことがあれば、すぐに学級の担任の先生に相談しましょう。

(2) 学習内容

高校では国語（現代文、古典など）、社会（地理、歴史など）、公民（現代社会など）、数学、理科（物理、生物、化学など）、保健体育、芸術（美術、書道、音楽など）、外国語（英語、中国語など）、家庭情報などを勉強します。専門学科のある学校では、それぞれの専門的な勉強もします。

※他には、総合的な学習の時間、特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事）などがあります。

(3) 学習道具

授業に使う教科書や副読本(資料集や問題集など)は有料です。必要なものは、家庭で用意してもらいます。芸術など、いくつかの科目では、自分だけが使う道具が必要なことがあります。



(4) 健康診断

日本の学校では、学校で健康診断を行なっています。健康診断はいろいろな種類があります。

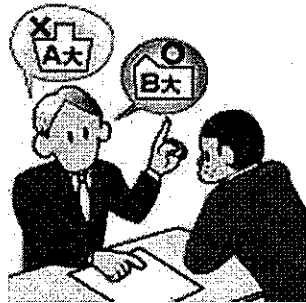
- ・ 保健調査 (今までにかかった病気や、今健康かどうかを調べます)
- ・ 身長 (背の高さ)・体重 (からだの重さ)・座高測定 (座ったときの背の高さ)、内科 (お腹の中の様子)、眼科 (目が健康かどうか)、耳鼻科 (耳と鼻が健康かどうか)、歯科 (歯が健康かどうか)、視力 (どれくらい見えるか)、聴力 (音が聞こえるか)
- ・ 結核検診 (ツベルクリン反応検査)
小学校、中学校で済ませていない人が受けます。
- ・ 心臓検診 (心電図による検査)
心臓の働きが正常か調べます。
- ・ 尿検査 (おしっこの検査)

尿に異常がないかを調べます。血糖やタンパク質が出てないかを調べます。

※他にも、水泳の授業の前、マラソンや登山などをする前、修学旅行などに行く前に検査を受けることがあります。また、文化祭等の模擬店を出店するために寄生虫等の検査する場合もあります。

(5) 定期テスト

高校では、年間に5回程度の定期的なテスト（中間テスト・期末テスト）があります。教科によっては、学期に1回だけのものや2回のもの、テストは全くしないで、いつもの授業態度から成績を判断する教科もあります。定期テストの期間は3～5日です。定期テストの他に、宿題テストや実力テストを行う学校もあります。詳しいことは学校の先生に聞いてください。



(6) 通知表

生徒の学校での学習の成果（成績）や学校生活の様々な様子（出席、欠席の日数など）が書いてあります。卒業式の日にもらい、保護者に見せてから、次の学期始め（始業式の日）に担任に渡します。

V その他の学校

高等学校以外に、専門技術者になる教育を受ける高等専門学校や実践的な職業教育、専門的な技術教育を受ける専修学校、各種学校があります。

Ⅵ 大学・短期大学

1 大学・短期大学

(1) 大学・短期大学とは

大学は高等学校を卒業した生徒のための学校です。大学と短期大学があります。

大学・短期大学は、国が運営する国立、都道府県市が運営する公立、そして学校法人が運営する私立の学校の3種類があり、ほとんどが私立大学です。就学期間は大学が4年、短期大学は一般的に短大と呼ばれ（以下短大）、就学期間は2or3年です。

(2) 入学するためには

大学・短大に入学するためには入学試験を受けなければなりません、推薦制度のある大学もたくさんあります。また、学費、入学資格なども大学によって違いますから、詳しいことは大学に問い合わせましょう。

(3) 入学試験

国立・公立大学の入学試験は、すべての受験者が受けなければならない1次「センター試験」とそれぞれの大学が実施する、2次試験の2回に分かれています。私立大学の入学試験は、各大学によって試験科目や日程が異なります。

2 私費外国人留学生の受験

(1) 私費外国人留学生の場合

私費外国人留学生が大学を受験するために必要な試験、日本語能力試験と日本留学試験があります。どちらを参考資料とするかは大学によって異なりますので、各大学に問い合わせてください。

(2) 日本語能力試験

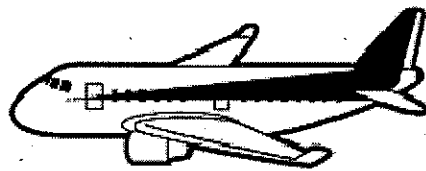
日本国内及び海外において、日本語を母語としない人を対象として、日本語の能力を測定し、認定する試験です。試験は1級から4級までの4レベルで、私費外国人留学生の入学選考の参考資料として1級または2級を課す大学や短大が多いようです。

(3) 日本留学試験

日本留学試験の試験科目は、日本語、理科（物理・科学・生物）、総合科目及び数学ですが、日本の各大学が指定する受験科目を選択して受験することになります。また、出題言語は日本語と英語があり出願時に選択できます。ただし、日本語科目の出題言語は日本語のみです。

VII 外国人学校

日本国内には英語や中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語などで授業が受けられる外国人学校があります。外国人学校の多くは、日本の学校教育法という法律で「各種学校」という扱いになり、日本の大学によっては、外国人学校を卒業した人の受験が認められないことがあります。



VIII 支援

日本には、生活が困難な家庭の子どもたちのために就学援助や奨学金の制度があります。

1 就学援助

小学校や中学校に在学する児童・生徒の保護者で、子どもを就学させることが困難な

方に、就学に必要な費用を援助する就学援助制度があります。学用品費のほか修学旅行費、給食費などの支払いに困るときは、学校が教育委員会に相談をしましょう。ただし、援助を受ける場合には、所得制限があります。

詳しくは外国人登録をしている市役所・町村役場に問い合わせてください。

2 奨学金

(1) 高校生に対する奨学金

高等学校・専修学校（高等課程）に在学する方で、勉学意欲がありながら経済的理由により就学が困難な方を対象とした国の奨学金貸与の制度があります。奨学金の貸与を受けるための条件、貸与額など、具体的な内容については在学する学校へお問い合わせください。

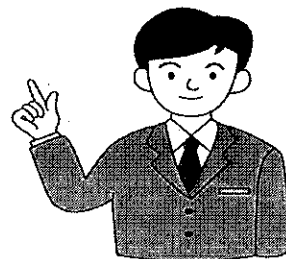
(2) 短期大学、専修学校、大学等の学生に対する奨学金

短期大学、専修学校、大学等の学生に対する奨学金制度には、日本学生支援機構の奨学金があります。奨学金の貸与日額は、学生の条件によって異なります。また、無利息と利息付の2種があります。詳しくは在学する学校へお問い合わせください。

(3) 留学生に対する奨学金

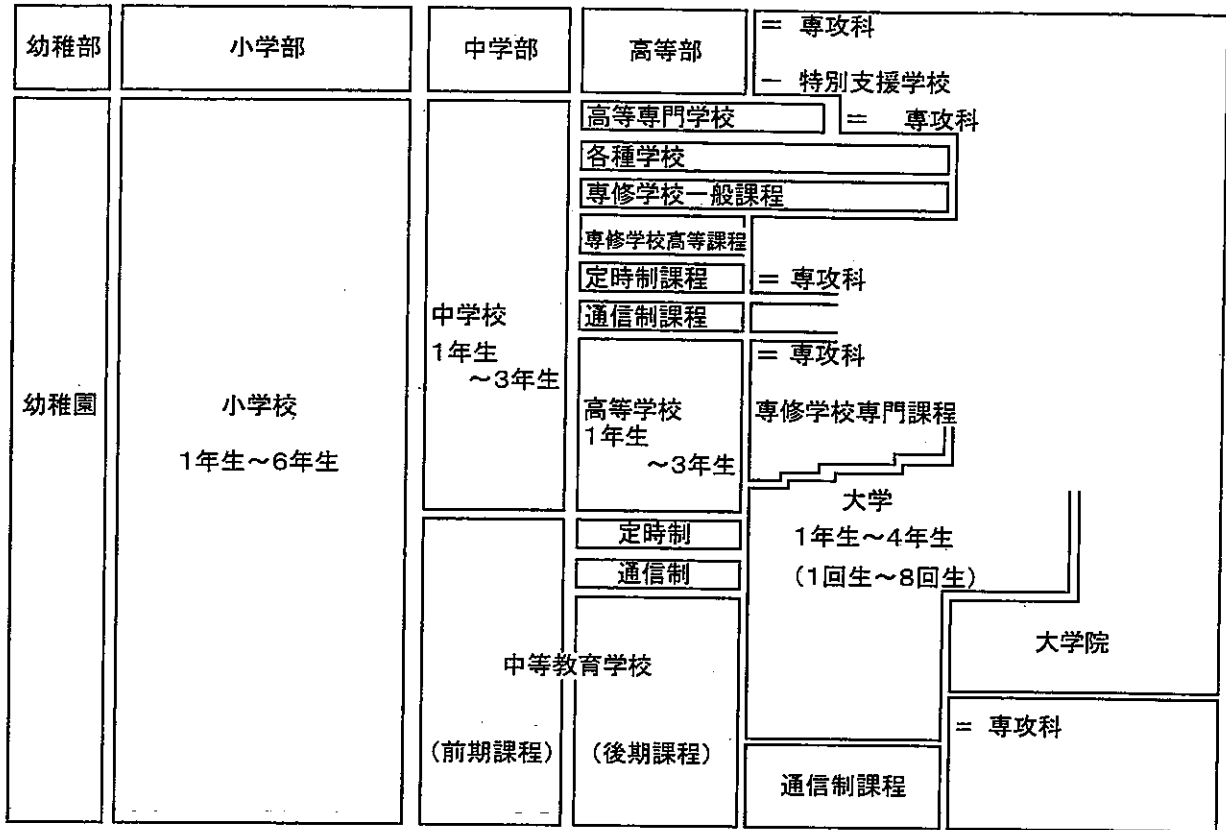
留学生に対する奨学金制度は、日本政府、日本学生支援機構、地方自治体や国際交流協会が行っています。これらの制度の一覧は、日本学生支援機構が毎年発行している「日本留学奨学金パンフレット」で確認できます。

http://www.jasso.go.jp/study_j/scholarships_sfsij.html



日本の学校系統図

年齢 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28
 学年 1 2 3 4 5 6 1 2 3 1 2 3 1 2 3 4



参考: 文部科学省「就学ガイドブック・2005年4月」

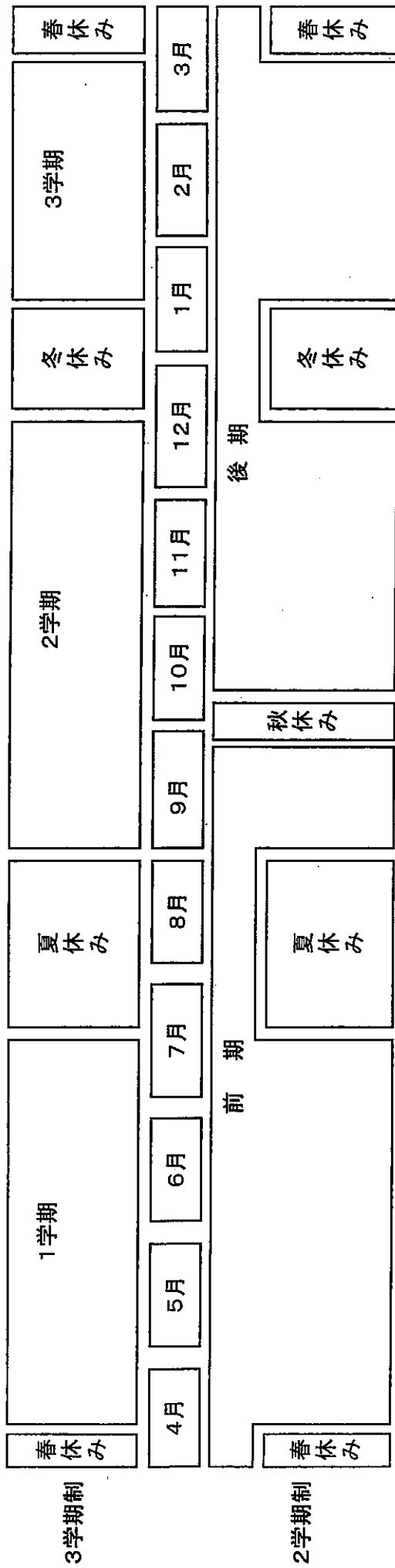
幼稚園、小学校、中学校、高等学校にかかる一人当たりの年間教育費

(単位: 円)

区分	幼稚園		小学校	中学校		高等学校(全日制)	
	公立	私立	公立	公立	私立	公立	私立
金額	238,176	509,419	314,161	468,773	1,274,766	516,331	1,034,689

参考: 文部科学省「子どもの学費調査報告書・平成16年」

学期制(例)



<参考資料>

○大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 児童生徒支援課
「帰国・渡日の子どもと親の就学前サポート」
<http://www.pref.osaka.jp/kyoisityoson/jidoshien/shugaku/>

○(財)自治体国際化協会
「多言語生活情報」
<http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html>

○文部科学省
「就学ガイドブック」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001.htm#a09

「就学ガイドブック」 2008年3月発行

山梨県 国際課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6番1号

TEL055-223-1436 FAX055-223-1438

URL:<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kokusai/index.html>

URL:http://www.pref.yamanashi.jp/global_net/index.jsp

